

# さすが最上級生、真剣な眼差しで授業を受けていました！

5月13日(水)3校時、数学科の上原晶子先生の授業を参観させていただきました(3年3組)。

本時のねらいは、小学校4年生で学習する3桁のかけ算を、現在学習している乗法公式を活用し、工夫して計算することが目的です。 例： $102 \times 98 = (100+2)(100-2) = 100^2 - 2^2 = 10000 - 4 = 9996$

晶子先生ステキだな～と感じたのが、生徒にとって初めて出会う未知なる問い合わせにも関わらず、まずは**生徒に考えさせて**、そこから出てきた多様な考え方を認め、生徒に説明させ、その考え方を比較する場面を設けていた所です。

学んだ知識を「長持ち」させるために、人は試行錯誤し、「**Try & Error**」を経験することが必要かもしれません。足加減が難しいところですが、時にはレールを敷き、時には自由に運転させるなど、授業の主体を生徒に与え、**協働的な学びの実現**に向けて、全職員で学んでいきたいです。晶子先生、ありがとうございました。



## 生徒インタビュー

『本時の授業で何を学ぶことができましたか？』

(Tさん)

いろいろな乗法公式に当てはめて計算すると、筆算よりも楽に計算できた。

(Mさん)

難しかったけど、週末にクリアノートで練習したい！

**めあて**

数の計算を工夫してもよいよ。

**まどめ**

2つの数に共通している数を見つけたり今まで習ってきた公式を利用すれば、かんたんに計算ができるよ。

**ふりかえり**

今回の授業では、例えば、(3)の問題など50に近い数を見えておきながら、他の数にならうにしたり、ひたすらくわいたくじの公式においてはめり込めて計算していく。

図1 生徒のノート（めあてーまどめーふりかえりの確実な実施）

**めあて**

数の計算を工夫して求めよう

**まどめ**

2つの数に共通している数を見つけたり今まで習ってきた公式を利用すれば、かんたんに計算ができるよ。

**ふりかえり**

生徒に考えさせ、生徒が発表する

図2 本時の板書（1時間完結型のコンパクトな授業）